Kyoto Institute for Regional Prospects

KIRP

NEWS LETTER

京都地域未来創造センターを設立しました！

vol. 1

この度、2017年4月より、京都府立大学地域連携センターと京都政策研究センターは発展的に統合し「京都地域未来創造センター」（Kyoto Institute for Regional Prospects：KIRP（カープ））として新たなスタートを切りました。旧センターで行っておりました主な事業については、引き続き実施いたします。京都地域未来創造センターは、京都府立大学の「知」を活かし、地域の未来を共に創るための拠点として発足し、地域に向けた窓口機能を集約しました。今後共、当センターの活動へのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

センター長・副センター長よりご挨拶

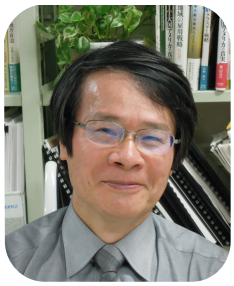
京都地域未来創造センター
センター長　小沢　修司

本学の地域貢献、地域連携機能を強化するべく、これまでの京都政策研究センターと地域連携センターを統合して京都地域未来創造センターを発足させました。これにより、地域、企業、自治体などから本学への各種問い合わせ、調査研究の依頼などが一つの窓口でお受けすることができるようになります。

昨年度、連携包括協定を結んでいる８市町を訪問しましたが、大学に調査研究を依頼したい、地域の活性化に学生の力を借りたい、総合計画の策定に協力いただきたいが、どこに声を掛けたらいいのか分からない、府大とはおつき合いがあるけれどもそれでも「大学の敷居は高い」などの声を伺いました。これからは、是非気軽にセンターにお声を掛けてください。「寄り添い」型の調査研究や地域貢献を行ってまいります。

京都の地域の未来を創造するお役にたてるよう、センターを育てていきます。よろしくお願い致します。

京都地域未来創造センター統括マネージャー
（副センター長）　青山 公三



新たに発足致しました京都地域未来創造センターは、英文名でKyoto Institute for Regional Prospects (KIRP)と致しました。Prospects　の原義は、「前を（pro）見る（spect）→展望する」という意味があり、複数形にすることで、「可能性、将来性」、さらには「有望な人材」の意味もあります。地域の未来を創造する有望な人材を発掘・育成し、彼らに寄り添い、協働する大学の研究センターとなる期待を込めています。

また、Prospectsは「先進的な科学技術の大きな成果」というような意味にもとることができます。リエゾンオフィスが科学技術の成果で地域に貢献する期待も込めています。

これらの期待を実現していくため、センターはこれまで以上に、地域の市町村、コミュニティ、諸団体、企業、そして諸大学等々との関係を緊密にし、協働で課題に対処していくことが求められています。そのため、京都地域未来創造センターは、足で稼ぐセンターをモットーに、大学の知見、人財、ネットワークを最大限活用して地域とともにありたいと願っています。

京都地域未来創造センター産学連携リエゾンオフィス所長
（副センター長）　田中　和博

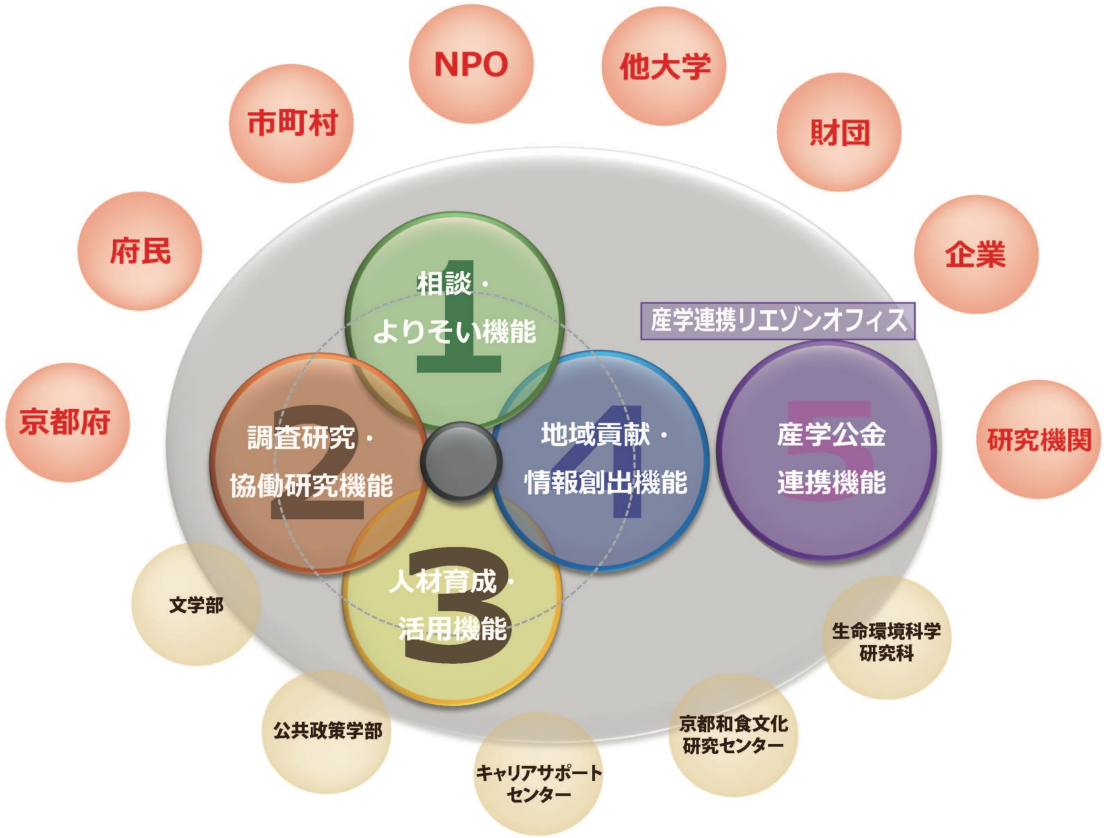
京都府立大学は、2017年4月、これまでの地域連携センターと京都政策研究センターの機能を一つに統合した新しいセンターとして京都地域未来創造センターを設置しました。地域連携センターの中にあった産学連携推進の部門は、その機能を一層強化させるため産学連携に特化したリエゾン機能を担うオフィスとして生まれ変わりました。

当オフィスでは、専門知識を持った職員を配置して、技術開発から共同研究のコーディネート、そして、契約事務から知財の管理に至るまでの役割を担っております。京都府立大学は、小さくても総合大学と言われておりますが、教職員の顔が見える関係の中で培われたネットワークを活かして、京都府のシンクタンクとしての機能を果たしております。

技術開発を活かした「もの」づくりによるグローバルな展開に加えて、地域の生物資源などの特性評価や検査に基づく「価値」づくり、地域の文化・歴史・伝統に根付く「こと」づくり、さらには、公共政策と連携した「社会システム」づくりに至るまで、京都府の公立大学として、地域の創造、発展に貢献していく所存でございます。新しく生まれ変わった産学連携リエゾンオフィスを、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

主な機能と取組

京都地域未来創造センターの機能概念図



① 相談・よりそい機能

・調査・研究に関する相談窓口
・研究成果の発信や普及
・地域住民の主体的な活動や協力関係づくりの支援
・自治体の政策形成の各過程における伴走型支援

② 調査研究・協働研究

大学シンクタンクとして
地域の諸課題に関する調査・研究・提言を実施
・大学研究費を活用した地域貢献のための調査研究
（地域貢献型特別研究（ACTR）＊Academic Contribution To Region）
・京都府内の自治体やNPOなどと連携した
研究や受託研究など

③ 人材育成・活用機能

・自治体職員等の政策形成能力の向上支援
・自治体などからの研修生の受入
・地域創生人材育成
COC＋（地（知）の拠点大学による地域創生推進事業）

④ 地域貢献・情報創出機能

・生涯学習の機会の充実
・情報収集・発信
・学生の地域貢献活動の支援

⑤ 産学連携リエゾンオフィス

・産学連携活動推進の支援

KIRP Kyoto Institute for Regional Prospects
京都府立大学　京都地域未来創造センター

今年度の主な受託・協働研究

お知らせ

KIRPでは、今年度は以下の受託・協働研究事業について調査研究を進めていく予定です。今後、進捗の様子を随時ご報告します。

- 京都府政の重要課題に関する政策研究
- 京都経済同友会「京都府北部地域における観光人財調査業務」
- 京都府市町村振興協会共同研修
  海外行政調査研究プログラム研修業務
- 南丹市総合振興計画に係る外部評価事業
- 南丹市胡麻地域小さな拠点形成事業
- 南丹市行政評価・行政改革調査研究業務
- 宇治田原町「いいところ」パンフレット作成基礎調査・企画提案

平成２９年度京都府立大学地域貢献型特別研究（府大ＡＣＴＲ）研究テーマの採択結果について

お知らせ

京都府立大学では、京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、地域貢献型特別研究（ＡＣＴＲ）に取り組んでいます。今年度は次の２０件の研究が採択され、府内地域で調査研究を進めていきます。

採択された研究は、府内の市町村、府内に立地する企業、ＮＰＯ、地域住民等で共同研究者・研究協力者として参加可能な応募者から寄せられた地域課題の提案に基づき（応募件数５０件）、本学教員から研究計画を募集（応募件数３４件）したものに対して、審査・決定したものです。

＊ＡＣＴＲは、Academic Contribution To Region の略で、「地域に貢献する学術研究」を意味します。

研究テーマ	代表者
京丹後市域の文化遺産の活用を通した地域・学校連携の構築	文学部・菱田 教授
「丹後の海」の歴史・文化に関する総合的研究－丹後東部を中心に－	文学部・藤本 准教授
地域運営組織の形成に向けた住民自治と団体自治の関係性及び地域へのアプローチ方策の検証	公共政策学部・勝山 准教授
刑事施設出所者の地域社会での居場所づくりにおける更生保護施設の役割の検討	公共政策学部・山野 准教授
早生樹の活用による森林資源の再造成・学校環境教育の実践	生命環境科学研究科・糟谷 助教
京都府産宇治茶の独自性・優位性を確保・発展させるための茶の優良形質に関する遺伝的・栽培生理的研究	生命環境科学研究科・久保 准教授
漆の科学・文化研究拠点化事業－京都の漆科学と漆文化の世界発信－	生命環境科学研究科・椎名 教授
京都府立大学で育成した「洛いも」の精華町における特産農産物化に向けた安定生産および総合的な利用技術の開発	生命環境科学研究科・伊達 講師
京のブランド野菜「花菜」の根こぶ病防除体系の確立に向けた調査研究	生命環境科学研究科・辻 講師
酒造原料米「京の輝き」による純米吟醸酒「なからぎ」とその副産物を利用した加工食品およびどぶろくの評価研究	生命環境科学研究科・中村 講師
ＩＣＴを活用した薪の地産知消型流通ネットワーク構築による地域経済とCO2削減効果の検証	生命環境科学研究科・古田 教授
京の竹工芸の科学によるブランド化と市場創生のための基礎的研究－放置竹林撲滅・地域活性化に向けて－	生命環境科学研究科・古田 教授
地元産原料に根ざした黒谷和紙製品の機能化と多角化	生命環境科学研究科・ 細矢 教授
京都府産豆類を活用した新たな特産品の開発	生命環境科学研究科・松井 教授
宮津市域の伝統的祭礼・芸能・文化に関する調査研究とその成果公開	生命環境科学研究科・松田 講師
脱炭素化社会を実現する観点から見る大学生・小学生と地域住民の意識と行動の変容に関する調査研究	生命環境科学研究科・松原 教授
ITデータを活用した森林管理手法の高度化・合理化に関する実証的研究	生命環境科学研究科・美濃羽 講師
木質ペレット燃却灰の有効利用方法に関する研究	生命環境科学研究科・宮藤 教授
食品ロス削減に向けた社会実験研究-精華町の実態を踏まえた効果的な施策に向けて	生命環境科学研究科・山川 教授
「京料理」形成過程に関する歴史的考察	京都和食文化研究センター 上田 特任教授

これからの地方自治・地方政策を考える　連続自治体特別企画セミナー

京都地域未来創造センター設立記念シンポジウム

お知らせ

７月８日（土）１４：００～１７：００
場　所：　京都府立大学　稲盛記念会館　１０４講義室

基調講演

「今後の科学技術の進展と地域社会ー大学は地域との協働でいかに役割を果たすべきか」

大西　隆　氏　日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授

シンポジウム「京都地域未来創造センターが諸分野で果たす役割への期待」

産学公連携、包括協定先の自治体・企業、研究者、他大学より実践者をお招きします。

京都府立大学地域連携センターと京都地域政策研究センターは発展的に統合し、２０１７年４月に「京都地域未来創造センター」として新たなスタートを切りました。設立記念シンポジウムの開催を通じ、科学技術やグローバル化が進展する社会において、今後、大学が地域との協働でどのような役割を果たすべきか、皆様と共に議論・共有したいと思います。

＊詳細は追ってHP、メルマガ、Facebook等でご案内します。

公開講座

桜楓講座（春の部）

お知らせ

京都府立大学では、府民のみなさまの文化の場・学習の場として、毎年春と秋に公開講座「桜楓講座」を開講しています。各学部の教員が各々の研究内容を分かりやすく解説し、毎回ご好評をいただいています。春の部は、次のテーマで開催します。

- **６月１０日（土）10:00～12:00**
  「ダチョウに魅せられて」　生命環境科学研究科教授　塚本　康浩
- **６月２４日（土）10:00～12:00**
  「平安京での海外使節のおもてなし～古代日本・渤海関係と鴻臚館」
  文学部准教授　井上　直樹

会場：京都府立大学稲盛記念会館　102講義室　　＊詳細・お申込はホームページをご覧ください。

ブックレット『「みんな」でつくる地域の未来』を出版しました

お知らせ

全国各地で地域のサステイナビリティ（持続可能性）が危ぶまれています。私たちの生活基盤を動揺させる今日のこの危機に対して、いま全国各地で住民が自律的に地域のサステイナビリティを確保しようとする新たな住民自治の動きが活発化しつつあります。本書では、国内外での注目すべき事例を取り上げて、そうした新たな住民自治の動向を紹介し、学ぶべき教訓を探ります。

＊＊＊＊＊ 目次 ＊＊＊＊

はじめに　川勝健志（京都府立大学公共政策学部准教授）
第１章　若者によるビジョンづくりから奇跡の復活を遂げた街チャタヌーガ
　　青山公三（京都政策研究センター長）
第２章　地域の未来は「みんな」で描くー高知県佐川町を事例としてー
　　杉岡秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授／京都政策研究センター特任准教授）
第３章　地域のことは地域で治めるー島根県雲南市の地域自主組織の挑戦ー
　　鈴木暁子（京都政策研究センター上席研究員）
第４章　暮らしを支える地域協働システムをー三和地域協議会がめざすもの
　　岡部成幸（三和地域協議会 事務局長）
第５章　住民の自治と協働のまちづくりの検証ー京都府京丹後市を事例にー
　　勝山享（京都府立大学公共政策学部准教授）
おわりに　小沢修司（京都府立大学副学長・公共政策学部教授）

＊京都府立大学生協や書店、インターネットでお買い求めいただけます。
ぜひ一度手に取ってご覧ください＾＾

KIRPへのアクセス 連絡先について

京都地域未来創造センター（KIRP）の事務室の場所・連絡先は下記の通りです。新センターの前身である京都政策研究センター事務所は4月より下記に移転しました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

[KIRP事務室の場所]
京都府立大学 稲盛記念会館１F

Tel & Fax : 075-703-5319
Tel　: 075-703-5390
mail : kirpinfo@kpu.ac.jp
HP：http://www.kpu.ac.jp/

〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学
京都地域未来創造センター
（KIRP）

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。